

# 牛久：学校周辺に見る自然

第44号 牛久自然観察の森

2016年11月12日発行

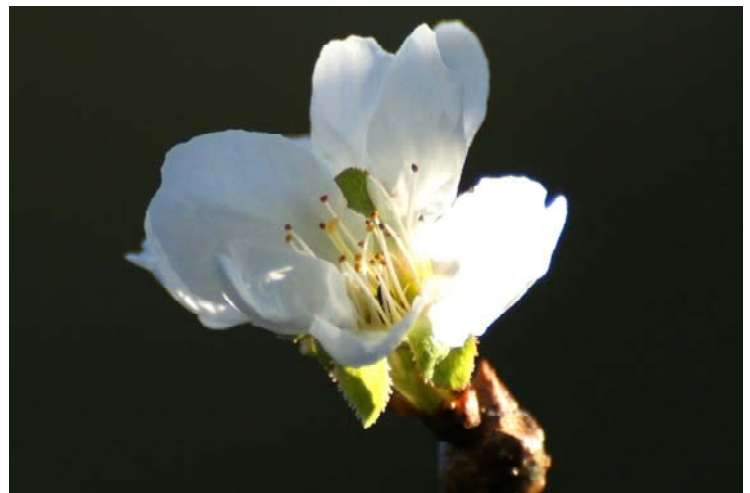
## ＜ 秋の日に、牛久自然観察の森を歩く ①植物 ＞

皆さん、こんにちは。今回は、前号までのみずべ公園観察と同時期に歩いた、牛久自然観察の森の生きものたちのようすをおとどけします。まずは、植物たちから。



鳥が食べて種子<sup>しゅし</sup>を運ぶ実は、赤や青、むらさきなどあざやかな色が多い。ガマズミ(左上)、マユミ(右上)、ウメモドキ(左中)、ムラサキシキブ(右中)、マムシグサ(左下)、カラタチ(右下)。

園内にはガマズミの赤やムラサキシキブの<sup>むらさき</sup>紫など、あざやかな色で鳥をさそう木の実がたくさんなっていました。鳥たちは、果実の<sup>びみょう</sup>微妙な色の<sup>じゆく</sup>変化から熟しているかどうか分かるのだそうです。



少ないが、咲いている花もあった。ノコンギク(左上)、キンミズヒキ(右上)、ホトトギス(左中)、ツクバトリカブト(右中)、サラシナショウマ(左下)。スモモは季節はずれの開花(右下)。

秋が深まるにつれ咲いている花はぐんと少なくなります  
が、キクのなかまはこの時期に咲くものも多いですね。園  
内ではノコンギクやヤクシソウ、セイタカアワダチソウ  
などがきれいに咲き、ハチやチョウが集まっていました。  
その他キンミズヒキやホトトギス、サラシナショウマ、  
ツクバトリカブトも秋の花で、それぞれ特ちょうがあり  
美しいです。そんな中で、エゴノキやスモモがやはり季節  
はずれの開花をしていました。 【理科支援員:宮内】